

平成 29 年度 事業計画

事業方針（案）

昨年度はふくしまアフターDCや市制施行 50 周年を迎え、観光・物産事業を展開してきたところであるが、未だに続く風評被害や震災記憶の風化、度重なる余震等により、観光・物産を取り巻く環境は、厳しい状況が続いている。

そのような中、平成 29 年度は、JR 東日本と連携した誘客事業をはじめ、福島県や関係団体との連携による誘客、物産振興事業、いわきアフターサンシャイン博事業など、これらの機会を逃すことなく、積極的な情報発信や誘客活動を各部会で検討し、会員皆様と共に図って参ります。

さらに、日本版DMOの形成・確立を図るため、観光戦略室を設置し、関連する事業において関係団体や会員皆様と連携し、マーケティング・マネジメント機能の強化を図り、中長期の視点から推進して参ります。

具体的事業について

I 公益事業

1 二次交通サポート事業（事業費：2,500 千円）

二次交通（バス・タクシーの活用）と関連した商品を作成し、市内周遊の強化と観光誘客の拡大を図る。

- イベントに併せた二次交通の展開
- 地域間・施設間連携のための二次交通の展開

2 いわき市石炭・化石館の企画展等による地域振興事業（事業費：17,500 千円）

- (1) ワンストップサービスの受発信拠点としての機能構築、受け入れ体制の整備
- (2) 常磐炭田史研究会、いわきヘリテージツーリズム協議会、地元各種団体やボランティア等との連携並びに企画展等の開催による地域振興の推進
 - 企画展の開催：「古代オリエント博物館との連携企画展」（12/22～2/28）
 - 館内講堂等を活用したイベント・講演会、ワークショップを開催し、入館者増及び満足度の向上
 - 来館者への観光情報等（観光案内、PR コーナー等の設置）の提供及びミュージアムショップを活用した商品群の魅力向上

II その他事業（地域活性化事業）

1 観光誘客の促進を目指す取り組み（観光事業部会）

各種事業等の検討、効果的な情報発信と集客事業展開を図る。

また、他地域観光の現状を把握するため、会員企業の営業担当者と意見交換会等を開催し、観光誘客の施策や中長期戦略の検討を行う。

- (1) 観光誘客の宣伝
 - 市内外の観光施設及び旅行エージェント等への助成金を活用した営業活動
 - 福島県等との連携によるインバウンド誘致に係る企画・営業活動
 - 各種団体、企業等と連携した観光キャラバンやPR活動
- (2) コンベンション等誘致事業（事業費 2,500 千円）
 - 県内関係機関との連携による誘致拡大
- (3) 教育旅行の推進、営業・プロモーション活動への参加

- 福島県、県観光物産交流協会、NPO法人等との連携
- (4) 観光パンフレット・ポスター、媒体紙等の制作
 - 広報宣伝及び効果的な媒体を活用したタイムリーな情報発信
- (5) いわきツーリズム魅力発信事業（事業費：9,999千円）
 - JR東日本と連携した誘客事業の展開
- (6) いわき市総合観光案内所の運営
 - 観光情報、地域の様々な情報の受発信（HP/Fb/Twitterの発信）
- (7) 中山間地域スタンプラリー運営事業（事業費：1,696千円）
 - 中山間地域と地域外との交流促進を目的としたスタンプラリーの実施
- (8) いわきアフターサンシャイン博実行委員会との連携
 - いわき市旅行業協議会との連携による地域を素材としたツアーの実施等

2 観光交流人口増を目指す取り組み（地域ネットワーク事業部会）

交流人口の増大に資する事業の検討を行い、地域ネットワーク（地域の核となる団体個人）の形成を図るとともに、日本版DMOの手法による新たな観光需要を喚起するプログラム等を検討する。

- (1) 受け入れ体制づくりを充実するための勉強会、研究会、講演会等、会員サービス事業の実施
- (2) 海開き式典の開催（7月中旬予定）
- (3) いわきおどりの運営（8月8日開催予定）
- (4) いわき夏まつり助成事業（事業費：4,996千円）
 - いわき花火大会、平七夕まつり、勿来夏祭り、内郷回転櫓盆踊り大会、四倉夏まつり等、いわきの夏まつりのPR
- (5) フィルム・コミッション推進事業（事業費：2,458千円）
 - いわきフィルム・コミッション協議会の運営
- (6) いわきアフターサンシャイン博実行委員会との連携
 - レイライン（地域の聖地探し）等による集客事業の展開
- (7) いわき観光共同キャンペーン実行委員会との連携
 - アンケート調査等分析の実施

3 物産振興の強化を目指す取り組み（物産事業部会）

定期的なイベント開催、並びに首都圏等での風評払拭の取り組み、友好都市との連携など、積極的な物産振興を図るとともに、いわき市石炭・化石館ミュージアムショップにおいて、各種販売会等を開催する。

- (1) 産品情報の受発信
 - 通年依頼されるイベント等への出展（年間：35～40事業）
 - 友好交流都市、復興支援市町村との事業連携及び情報発信
 - いわきの大物産展事業（10月頃）
 - 東京都港区との連携した新橋イルミネーションフェスタの開催（11月頃）
- (2) 福島県との連携
 - いわき地方振興局：コラッセふくしま、日本橋ふくしま館M I D E T T E等での物産PR販売
 - いわき農林事務所：「ふるさとの恵みPR支援事業」を活用した首都圏での物産PR販売
- (3) 水産物消費拡大・販売強化事業（事業費：8,813千円）
 - 市内水産物取扱い事業者の現況調査

- 市内水産加工品を中心としたパンフレットの制作及び配布によるPR
- 首都圏での市内水産加工品のPR販売
- (4) いわき水産物風評被害対策事業「常磐もの」認知度向上事業（事業費：10,746千円）
 - 水産物風評被害対策として「常磐もの」の認知度向上を目的とした事業の展開
 - 大型展示商談会事業として「スーパーマーケットトレードショー」への出展
 - 魚食普及月間（10月）と絡めた各種PR事業の展開
 - ラピスタ新橋ファロシティビジョンを活用した映像でのPR
- (5) いわき市石炭・化石館ミュージアムショップ等を活用した販売強化
 - ふるさと産品認定商品等の販売、PR

4 いわき市石炭・化石館の運営（運営検討委員会）

いわき市石炭・化石館及びウッドピアいわき運営事業（事業費：83,141千円）

安全な館の運営に努めるとともに、定期的かつ誘客につながる企画展の開催、受け入れ体制の整備、教育旅行等の誘致に努め、一層の魅力アップと入館者の満足度を図る。

- (1) 定期的な企画展、地域連携イベントの開催による入館者増への取組み
 - 企画展の開催
 - ・ 夏の企画展：「美しい鉱物展」（7/21～8/31）
 - ・ 秋の企画展：「震災とレスキュー展」（9/22～11/31）
 - 地域との連携によるイベント等の開催
 - ・ さくらまつり（4/9）、ミュージアムナイト（8/19～20）、クリスマスイベント（12月中旬・ミュージアムナイトも同時開催）
- (2) お客様の安全確保と満足度向上への取組み
 - 館内の保守点検、駐車場対策（調節池、周辺企業への借用等協力要請）等

Ⅲ その他目的を達成するために必要な事業

- 1 総会・理事会・各事業部会の開催
- 2 ビューロー内新設部署「観光戦略室」の設置、日本版DMOの推進
- 3 各種要望活動（観光誘客に関する要望・陳情及び原発事故に伴う損害賠償等への活動）